

3-5 短期大学部門検討会議

本会議は、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み（ファカルティ・ディベロップメント）を研究するため、教員の意識改革、IT活用を含めた教育力、教職員による学生個人指導の工夫、地域連携による人間力養成などの課題について討議することを目的としている。会議の企画・運営・実施は、短期大学会議運営委員会（委員長：戸高敏之、同志社大学）を継続設置して対応した。

（1）開催要項の決定

ファカルティ・デベロップメントを背景とした組織的な教育改革の取り組みの中で、ITを活用して効果をあげている事例を特色GPなどを参考に選定することにした。その中で、eラーニングによる学生個別の学習指導システムの導入、学科教員全員による学生カルテの活用による個別指導の徹底、資格取得のための支援の紹介を行うとともに、ファカルティ・デベロップメントに不可欠な教育の支援センターの役割、授業評価、授業参観の実施方法などの紹介を踏まえて、教員の研修、指導などの教育戦略について全体討議することとし、以下のとおりプログラムを決定した。

平成18年度短期大学部門検討会議開催要項

日 時 平成18年6月17日（土）13：30～16：30
場 所 帝塚山大学 東生駒キャンパス

【開催趣旨】

授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み（ファカルティ・ディベロップメント）を研究するため、教員の意識改革、IT活用を含めた教育力、教職員による学生個人指導の工夫などの課題について討議する。

【開会挨拶】私立大学情報教育協会 戸高 敏之 会長

【事例紹介1】「専門職業人となる人材の基盤的英語教育の実践」

北星学園大学短期大学部 吉田かよ子 氏（短期大学部長、学園常任理事）
専門職業人となる人材が備えるべき幅広い教養知識を在学中に習得させるため、オンデマンド授業配信とe-Learningの教材開発を核としたカリキュラムの拡充、学生の学習ニーズに合致した授業運営と個別指導に取り組まれて

いる事例を紹介いただきます。

【事例紹介2】「学びの自由化と個別教育の推進」

東海大学福岡短期大学 八尋 剛規 氏（情報処理学科助教授）

基礎的教養、スキル、専門科目のe-Learning教材の開発とともに、多様な学生への適切な履修・学習・進路指導など、個別教育を実現するための全学的な取り組みを紹介いただきます。

【事例紹介3】「学生の資格取得への総合的支援システム」

創価女子短期大学 水元 昇 氏（資格試験指導室長、助教授）

実務的知識と能力の習得を目的として、伸ばしたい能力や身につけたい技能を学生の資質に合わせて習得できる体制、環境を確立するため、資格試験指導室を設置し、学生への情報提供、指導・アドバイスなどきめ細かな取り組みを紹介いただきます。

【全体討議】「ファカルティ・ディベロップメントとしての教育戦略」

社会に通用する人材育成をより効果的に短期間で実現するため、授業内容・方法の改善、教員の意識改革、きめ細かな個別指導などの課題について、教職一体となって組織的にどのように取り組んでいくべきか、前半の事例内容を踏まえ参加者を交えて討議する。

（2）開催結果および次回への準備

参加者は昨年とほぼ同様の40名となった。開催概要は巻末の資料編【資料11】を参照されたい。その後、運営委員会では、参加者のアンケートを参考にしながら19年度の開催方針を検討した結果、参加者の希望も多かったため、引き続きファカルティ・ディベロップメントを中心とした内容とすることに決定した。プログラムでは、教員間の授業参観や意見交換などファカルティ・ディベロップメントを組織的に取り組んでいる事例紹介、学科レベルでキャリア教育に取り組んでいる事例紹介を行い、まとめとして全体討議を行うこととした。